

3月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦後ドイツにおける戦史研究と戦史編さん</li> <li>・第二次世界大戦におけるドイツの戦争指導</li> <li>・第二次世界大戦におけるドイツのパルチザン戦</li> </ul>	ドイツ軍事史研究所 研究部長 ロルフ・ディーター・ ミューラー
7月25日(金)	太平洋戦争前後の米英関係	慶應義塾大学法学部教授 赤木 完爾
8月7日(木)	米英における太平洋戦争研究の近年の動向	玉川大学経営学部 国際経済学科教授 等松 春夫
8月27日(水)	戦史研究手法について	軍事史学会副会長 原 剛
11月6日(木)	防衛省・自衛隊における戦史研究・教育のあり方	慶應義塾大学法学部教授 赤木 完爾 軍事史学会副会長 原 剛
11月26日(水)	沖縄戦と住民避難	軍事史学会副会長 原 剛

## 2 平成20年度戦史部調査研究項目

### (1) 特別研究

本年度は特別研究なし

### (2) 所指定研究

題 目	担 当 者
自衛隊・米軍基地に関する研究(その3)	小山主任研究官

### (3) 基礎研究

題 目	担 当 者
戦争指導方針決定の構造 －太平洋戦争時の日本を事例として－	立川主任研究官
開戦経緯をめぐる研究に関する一考察	庄司上席研究官
海洋国家の軍備構想 －戦前日本海軍を例として－	相澤第2戦史 研究室長
インテリジェンスの観点から見た1940年の日英米関係	小谷教官
中国側から見た日中戦争 －満州事変から盧溝橋事件まで－	岩谷教官
太平洋戦争初期における戦争指導	屋代主任研究官
ガダルカナル戦以降の日本陸軍の戦略構想 (昭和17年秋～18年春)	進藤主任研究官
太平洋戦争後半期における戦争指導(その2) －陸軍の戦争終結構想を中心として－	和田所員
満州事変が日本の朝鮮支配に及ぼした影響とその原因に関する考 察	山村主任研究官
日本海軍における英国との親善交流について －日露戦争前後における軍艦の英国観艦式派遣を中心にして－	川井所員

### 3 平成20年度戦史編さん等について

防衛研究所戦史部第2戦史研究室は、「作戦及び戦闘に係る戦史に関する調査研究及び当該戦史の編さんを行う」ことを主任務としているが、平成20年度は、昨年度に引き続き戦史編さん等の業務に重点を置き活動を実施した。平成20年度の戦史編さん業務は次のとおりである。

#### (1) 戦後史関連の戦史史料編さん

戦後史関連の戦史史料編さんはオーラル・ヒストリー（口述記録の作成）と「基地問題関連資料集」編さんに取り組んでいる。このうち、オーラル・ヒストリーは自衛隊草創期から80年代の我が国の安全保障に関するものであり、

ア 山田良一氏（元航空幕僚長）を中心としたオーラル・ヒストリーの作成